

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会

目次

前文	1
----	---

I. 法人運営部門

1. 法人運営事業	3
(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・評議員選任 ・解任委員会	3
(2) 研修	4
(3) 会員制度	4
(4) 法人運営体制の強化	5
2. 企画広報事業	5
(1) 企画	5
(2) 広報	5

II. 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉推進事業・ボランティアセンター事業	6
(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進	6
(2) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の策定	6
(3) ボランティア活動の推進	6
(4) 地域ごとの住民福祉活動の仕組みづくり及び支援	8
(5) 福祉教育推進事業	10
(6) 災害対応事業	11
(7) ボランティア村の開催	11
(8) 障がい福祉事業	11
(9) 児童福祉・子育て支援事業	12
(10) 助成事業	13
(11) ひとり暮らし高齢者訪問指導事業	13

III. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業	14
(1) 相談対応・実績	14
(2) その他	14
2. 成年後見事業	15
(1) 法人後見事業	15
3. 生活困窮者自立相談支援事業	16
(1) 相談対応・実績	16
(2) 対応状況	16
(3) 住宅確保給付金	16
4. 家計改善支援事業	16
(1) 相談対応・実績	16
(2) 対応状況	16
(3) 司法書士相談	16
5. フードドライブ事業	17
(1) 食料支援	17
(2) 子ども応援大作戦	17
6. 生活支援事業	17
(1) 資金貸付事業	17
(2) 生活援護事業	18
7. 在宅支援事業	18
(1) フレンドリーヘルパー派遣事業	18
(2) あゆむサービス事業	19
(3) 家族介護者支援事業	19
(4) お元気確認サービス事業	20

8.	介護人材育成事業	20
	(1) 介護に関する入門的研修：入門講座	20
	(2) 介護に関する入門的研修：基礎講座	20
	(3) 介護職員初任者研修	20
9.	さくら貝サービス事業所	21
	(1) 居宅介護支援事業	21
	(2) 居宅訪問介護サービス事業	21
	(3) 障害者総合支援事業	21
10.	地域包括支援センター	22
	(1) 総合相談・支援業務	22
	(2) 権利擁護業務	22
	(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務	22
	(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務	23
	(5) 認知症に関する取り組み	23
	(6) 地域ケア会議推進事業	23
	(7) 生活支援コーディネーター（第2層）業務	23
	(8) 重層的支援体制整備事業	24
	(9) 介護予防実態把握事業	24
	(10) その他	24

IV. その他

1.	逗子市福祉会館管理運営事業	25
	(1) 部屋別利用状況	25
	(2) 利用者別利用状況	25
	(3) 有料件数と金額	25
2.	基金等運営事業	25
	(1) あゆむ銀行の運営	25
	(2) 福祉基金の運営	26
3.	車イス・イベント機器の貸出	26
4.	社会福祉実習生の受け入れ	26
5.	駐車場管理運営事業	26
6.	その他	26
	(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局	26

令和4年度逗子市社会福祉協議会事業報告

社会福祉法や介護保険法の改正など、社会福祉法人が地域に求められる役割が大きく変化しているなかで、令和4年度の逗子市社会福祉協議会においては、多様化する生活課題の解決等に、関係機関・市民等と連携し、地域福祉の推進を図ることができました。

令和4年度重点取組事項について以下のとおり実施しました。

企画総務係

・コンプライアンスを意識した法人運営の徹底

関係法令と現行の運用状況を確認し、規程の整備を順次実施した。

・労務管理規程等の整備による法人運営体制の強化

社会保険労務士など専門家へ相談する機会を設け、労務管理に関する整備を進めた。また、法人内ハラスメント相談体制の整備、安全衛生管理体制の整備を進めた。

地域福祉推進係

・小地域活動支援方針の検討

地域の担い手の発掘・育成を課題として捉え、サポーター等の活動のない地域での住民懇談会や、多世代が参加できるイベント等を企画・開催した。

地域生活支援係

・総合相談の強化・整備

複雑化・多様化した生活課題と向き合えるよう、ハローワーク・就労支援センター「ねくすと」等との連携、市で主催している重層的支援体制整備勉強会への参加等、専門性の強化に努めた。

在宅支援係

・個々の生活を支える基盤の強化を図る

フレンドリーヘルパー、あゆむサービスについて、住民主体活動の特性を生かした支援の在り方や派遣体制等の見直しを随時行い、コロナ禍においても住民主体の支援活動を継続的に実施した。

・地域の介護力向上を図る

介護に関する入門的研修、介護職員初任者研修を開催し、身近な地域で段階的に介護について学べる環境を提供し、介護に関する知識や技術の普及、人材の育成を行った。

さくら貝サービス事業所

・事業継続計画の検討・策定

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援が継続できるよう、事業継続計画の策定に向けて検討を継続した。

・スーパービジョンの強化

個別支援におけるスーパービジョンを継続的に実施し、相談援助技術・介護技術の向上に努めた。

・事業所内の職員体制整備の推進

職業倫理を改めて問い直し、適切なサービス提供ができるよう人員体制整備や、研修を実施した。

・ヒューマンエラー0を目指す

サービス提供における苦情や事故について、事故報告やヒヤリハット報告をもとに再発防止検討を行い、

事業所内全体で周知した。

• **地域ケアへの視点強化**

社会福祉協議会が運営をする事業所であることを意識し、高齢化率の高い地域の特性を踏まえた在宅ケアの提供や、地域住民への介護予防的ケアの提供・伝達を行うことで安心して高齢期を送れる地域づくりを各セクションと協働して支援の視点を広げるよう努めた。

地域包括支援センター

• **重層的支援体制整備における相談支援包括化推進員の機能の充実を図る**

個別支援ケースにおいて、関係機関と連携をとりカンファレンスを実施した。また、必要に応じて法人内の関係部署よりスーパービジョンを受けた。

• **事業継続計画の検討・策定**

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援が継続できるよう、市地域共生係や各地域包括支援センターと情報交換を実施し、事業継続計画の策定に向けて取り組んだ。

以上の内容を重点取組事項として実施しました。各事業における実施内容は、以下のとおりです。

I. 法人運営部門

1. 法人運営事業

(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・評議員選任・解任委員会

本会の運営・経営管理上の重要事項や基本方針・適切な事業執行等の決定を行うため、評議員会・理事会等を次のとおり開催した。

① 評議員会

- ・第1回 令和4年6月24日
議案第1号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告
議案第2号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告
議案第3号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号
- ・第2回 令和4年12月23日
議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事の選任
議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事の選任
- ・第3回 令和5年3月24日
議案第6号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号
議案第7号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画
議案第8号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算

② 理事会

- ・第1回 令和4年6月6日
議案第1号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告
議案第2号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告
議案第3号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号
議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催
議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会地域包括支援センター運営規程の一部改正
- ・第2回 令和4年9月26日
議案第7号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正
議案第8号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会諸規程の改正
議案第9号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
議案第10号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催
- ・第3回 令和4年12月12日
議案第11号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事候補者の推薦
議案第12号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事候補者の推薦
議案第13号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
議案第14号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員会の開催
議案第15号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催
議案第16号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正
- ・第4回 令和5年2月27日
議案第17号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会副会長の選任
議案第18号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員会の開催
- ・第5回 令和5年3月20日

- 議案第 19 号 令和 4 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第 2 号
- 議案第 20 号 令和 5 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画
- 議案第 21 号 令和 5 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算
- 議案第 22 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局規程の改正
- 議案第 23 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正
- 議案第 24 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会小坪海浜地駐車場管理運営規程の改正
- 議案第 25 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員会の開催

③ 監事会

本会事業の遂行状況、財務の執行・管理状況について、監事による監査を実施した。

- ・金庫監査 令和 4 年 4 月 1 日
- ・本監査 令和 4 年 5 月 23 日
- ・前期監査 令和 4 年 11 月 22 日

④ 苦情解決第三者委員会

サービス利用者の権利保護を十分に行えるよう包括的な苦情解決の仕組み「第三者委員会」を組織した。令和 4 年度苦情件数は 0 件であった。

⑤ 部会

担当理事制を設け、理事と事務局が一体となり課題の共有化を図るとともに解決するための検討協議する場として部会を設置した。

法人運営部会 2 回開催 地域福祉推進部会 1 回開催

⑥ 評議員選任・解任委員会

評議員の選任に伴い委員会を開催した。

- ・第 1 回令和 4 年 7 月 1 日 第 2 回令和 4 年 10 月 7 日 第 3 回令和 4 年 12 月 16 日

(2) 研修

① 役員等研修

役員・評議員を対象に研修会を実施した。(2 回開催)

② 職員研修

神奈川県社会福祉協議会等で開催された研修及び各事業に関連する研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。

(3) 会員制度

① 会員制度の推進

自主財源の確保や本会活動への参加促進を目的に、市民、団体、企業等の協力により、会員募集活動を実施した。募集は、自治会・町内会、民生委員児童委員等の協力を得ながら行った。

会員・会費実績

	会員数	金額
個人会員	2,483 名 (2,595 名)	1,451,510 円 (1,583,010 円)
団体会員	70 団体 (74 団体)	385,000 円 (445,000 円)
団体賛助会員	46 団体 (42 団体)	265,000 円 (230,000 円)
合計		2,101,510 円 (2,258,010 円)

※ () 内は、令和 3 年度実績

(4) 法人運営体制の強化

- ① 衛生委員会の設置・開催
衛生委員会を定期開催し、職場の衛生管理促進に努めた。 開催回数 8回
- ② 産業医の配置
産業医を委嘱し、衛生委員会への参加、相談等を依頼した。
- ③ 社会保険労務士との定期会議
労務管理全般に関して、専門的な相談を受ける機会を設けた。 開催回数6回。
- ④ 職員資格取得促進事業の創設
職員の業務遂行能力の向上並びに資質向上を目的とし、資格取得を促進する制度を創設した。

2. 企画広報事業

(1) 企画

- ① 第五次強化計画の進行管理
キャリアを上積みするための資格取得に向けたアシスト制度の導入、コスト削減の取り組み（公用車の台数削減等）を実施した。
- ② 福祉功労者の顕彰
社会福祉功労者（民生委員児童委員、ボランティア団体等）や福祉施設等従事者などの顕彰を行い、その功績を讃えた。（神奈川県共同募金会逗子市支会と共催）
 - ・被表彰者 社協関係 30名 4団体
 - 共募関係 3名 1団体
- ③ 業務のスリム化
グループウェアの導入、財務会計ソフトの入れ替えを実施し、業務の効率化を図った。

(2) 広報

- ① ガイドブックの作成
本会及び活動内容を周知するためにガイドブックを作成し配布した。
- ② 広報紙の発行
広報紙「さくら貝」を隔月発行し（1回あたりの発行部数約 3,500部）、自治会・福祉団体・サロン・施設等へ配布した。また、録音ボランティアグループ「やまぼとの会」の協力により、視覚障がい者用CD版を毎月発行し、音声版として本会ホームページにも掲載した。
- ③ ホームページの運営
事業の周知、連絡用ツールとして、ホームページを運用した。また、セキュリティ対策などを含めたホームページ全体の改定について検討を開始した。
- ④ 事業広報による本会への理解促進
フードドライブチャリティーグッズを福祉会館、イベント等で販売し、フードドライブ事業及び地域課題の周知、活動への参加、理解の促進を図った。

Ⅱ. 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉推進事業・ボランティアセンター事業

(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進

第三次逗子市地域福祉活動計画にあたる計画を逗子市地域福祉計画と一体化した計画（逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画）として策定し、その8年計画施行8年目として逗子市と連携し、地域支援活動を推進した。

① 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会

計画の所管評価に対する意見徴収及び進捗状況の確認の場、また次期「逗子市地域福祉計画及び逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画」策定に伴う意見徴収の場として開催した。

・第1回 令和4年6月3日 第2回 令和5年3月22日

(2) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の策定

第四次逗子市地域福祉活動計画にあたる計画を逗子市地域福祉推進計画と一体化した計画（逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画）として策定した。

(3) ボランティア活動の推進

市関係セクション、ボランティア関係団体などとの連携を通して、ボランティア活動を充実させ、相談支援・コーディネート・啓発活動・情報収集・連絡調整を行った。また、地域安心生活サポート事業を推進し、小地域で主体的に進められるよう、地域特性に応じた仕組みづくりを行った。

① 支援が必要な方々を対象にした見守り活動及びニーズ対応

地域の中で支援が必要な人を、お互いさまサポーター（地域住民）が見守る体制づくりを推進した。

ア 地域安心生活サポート事業（お互いさまサポーター）

- ・サポーター数 513名
- ・利用登録者数 199名
- ・サポーターチーム 25チーム
- ・サロン活動 20チーム（地域安心生活サポート事業及びその関連より派生したサロンが継続運営されている）

② 小地域福祉の仕組みづくりと支援活動

地域包括支援センターの日常生活圏域や小学校区域及び民生委員児童委員協議会区域など、区域ごとのニーズに対して、小地域福祉の仕組みづくりと活動支援を行った。

- ・地域活動団体（サポーターや通いの場の主催団体等）が開催する集会等への参加
- ・集会での検討事項や、聞き取り調査等から表出した個別課題や地域課題について、サポーター等と共有し、関係機関との連携を図った

③ 地域における通いの場（サロン）の推進及び育成支援

住民同士の交流や健康維持、地域活性化を目的としたサロン活動（参加者を固定せず誰もが集える場の提供）を住民主体で展開している団体に対し、新規立上げや継続支援を実施した。

ア 介護予防普及啓発・地域活動支援事業（逗子市からの受託事業）

地域におけるふれあいサロン等の介護予防事業において、体操・口腔・音楽指導の講師による出前講座ならびにその調整を行った。

・地域介護予防活動支援業務状況

講師種別	件数	参加人数	内高齢者数
体操指導	291 件	3,265 名	3,213 名
口腔指導	2 件	28 名	28 名
音楽指導	38 件	433 名	433 名

- ・介護予防地域活動団体のサロン活動に係る相談業務
講師派遣について 352 件・状況確認について 258 件
- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金関連業務
逗子市地域介護予防活動支援補助金について、各サロンの申請等に係るコーディネートや事前審査を行った。
- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金申請手続きに係る補助業務
交付申請書提出補助 18 件・実績報告書提出補助 16 件
逗子市地域介護予防活動支援補助金交付 19 団体（令和 3 年度 19 団体）

イ サロン運営方法について総合的なコーディネート

- ・新規立上げ支援（対象：「サロン桜山 5 丁目」）
- ・冊子「逗子市内サロン一覧」の作成（掲載 44 団体）及び配布
- ・各団体の状況確認及び情報提供
サロン活動実施団体に対して、開催状況の確認や必要に応じた活動支援・情報提供を実施した。（対象 49 団体）
- ・コロナ禍により活動が停滞していたサロンに対して、住民主体活動の再開支援を実施した。（対象 5 団体）

ウ ポールウォーキング活動の普及啓発

- ・「ポールウォーキング・コグニサイズ」のイベントを開催（全 3 回）
- ・体操指導、物品貸出、活動運営支援等を実施

エ 住民主体の通いの場に対する専門職派遣事業への協力

- ・地域の住民主体の通いの場にリハビリテーション等専門職を派遣し、高齢者の自立支援を実施するための市の事業に対し協力した。（対象 3 地区）

④ ボランティアの育成支援

ボランティア活動に関する相談、登録及びボランティアニーズの需給調整を行うとともに、ボランティアの活動拠点を提供した。また、ボランティアの資質向上と活動領域を広めるための各種講座の開催、ボランティアグループとの連絡調整等、ボランティア活動がより豊かなものとなるよう支援し、地域福祉の向上発展に努めた。

ア ボランティア相談員によるコーディネート業務

ボランティア活動に関する各種相談に応じるとともに、「ちょっとした困りごと」のニーズ需給調整や活動に関する助言などを行った。また、地域活動者（お互いさまサポーター）や自治会と連携した支援体制の構築やボランティア活動の活性化に向けた支援を行った。

- ・ボランティア相談、地域支援、個別支援に対する相談 合計 61 件（令和 3 年度 52 件）

イ ボランティアの育成支援

登録ボランティアがボランティア活動を行うにあたり育成・支援を行った。また、ボランティア活動保険（全額自己負担）加入希望者への対応を行った。

- ・ボランティア活動保険加入者数
個人ボランティア 9 名（令和 3 年度 15 名）
ボランティアグループ登録者 28 団体 619 名（令和 3 年度 682 名）

ウ 情報カフェ

高齢者を中心に参加者が各自のパソコン、スマートフォン、タブレットを持参し、専門家による指導のもと、操作方法等を学び、情報共有する場を開催した。

開催日・回数・会場	毎月第4月曜日 全12回 福祉会館
参加者	延べ164名
リーダー	株式会社コストプランニング松本健一郎氏 他5～8名

(4) 地域ごとの住民福祉活動の仕組みづくり及び支援

生活支援コーディネーターが、地域資源の把握・開発、ネットワーク構築、各種担い手の養成・発掘、ニーズ対応活動を通じて、多様な地域資源を活用しながら、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を図った。

① 担い手育成

住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みづくりや地域活動者の育成を目的として各種講座を開催した。

ア 逗葉地区コミュニティソーシャルワーク基礎研修（神奈川県社会福祉協議会からの助成事業）

日程・会場	令和5年1月21日・福祉会館
参加者	27名（逗子14名、葉山7名、広域6名）
内容	講義・グループワーク等
講師	菱沼幹男氏（日本社会事業大学 准教授） 宮脇文恵氏（宇都宮短期大学 教授）

※神奈川県社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会と共催

イ 地域支えあい学習会（逗子市からの受託事業）

ひきこもりに関する学習会

日程・会場	令和4年6月5日・市民交流センター（オンライン有）
参加者	78名（逗子40名・葉山12名、他地域26名）
内容	講義・パネルトーク
講師 登壇者	池上正樹氏（KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 理事） 丸山康彦氏（ヒューマン・スタジオ代表） 橋本由美子氏（ゆずり葉の会） 新舛秀浩氏（ひきこもり発信プロジェクト代表）

ふくしで地域をつくる～逗子グリーンヒル～

日程・会場	令和4年12月5日・グリーンヒル自治会館
参加者	21名
内容	講義
講師	宮脇文恵氏（宇都宮短期大学 教授）

ウ 生活支援・送迎担い手養成研修（一部逗子市からの受託事業）

日程・会場	令和4年6月28日、7月8日、7月10日・福祉会館
参加者	生活支援担い手養成講座（1日目）のみ参加10名 送迎担い手養成研修の参加18名
内容	講義、実技、グループワーク
講師	逗子市福祉部社会福祉課 NPO法人ワーカーズ・コレクティブこだま 認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク NPO法人ワーカーズ・コレクティブくるまやさん

エ 認知症サポーター養成講座

1回目

日程・会場	令和5年1月17日・福社会館
参加者	7名
内容	講義
講師	逗子市中部地域包括支援センター

2回目

日程・会場	令和5年3月1日・沼間中学校
参加者	95名
内容	講義
講師	福祉教育学校実践プロジェクト

オ 担い手の増員

- ・「介護に関する入門的研修：入門講座」と連携し、研修修了者を「高齢者生活支援担い手養成研修」の修了者として認定した。 修了認定者6名

カ ボランティア団体、サロン団体等へのオンライン活用の支援を行った。

② 地域における支え合いの仕組みの推進

第2層生活支援コーディネーター（東部・中部・西部地域包括支援センター）と連携して、地域住民に対し、地域における支え合いの意識醸成及び普及啓発を行い、目指す地域の共有化を図った。また、社会状況の変化による各世帯の課題や困りごとに対するアプローチ並びに地域支援の仕組みを検討した。

ア 小地域における多世代交流イベントの開催

多世代の顔の見える関係作り、現お互いさまサポーター（高齢世代）と次期担い手（子育て世代）との交流、その両者が連携した地域活動促進などを目的として、小地域における多世代交流イベントを開催した。（対象地区2地区、開催数2回）

イ 多世代が交流できる場（居場所）の推進

地域での支え合う関係性や仕組みを多世代で構築していくために、全ての地域住民を広く対象として、地域において、誰もが気軽に参加し、交流できる場づくりを行った。

- ・各地域の自治会町内会や地域活動団体、民生委員児童委員、お互いさまサポーター等と必要に応じて地域の情報交換や企画検討の会合を実施した。
- ・開催企画：「新宿多世代交流サロン みんな de 絵本」（令和4年10月～月1回程度開催）
「沼間三の休息时间」（令和4年12月13日開催）
「パパママ子育てほっとサロン（逗子3丁目地域）」（令和5年3月7日開催）
「東昌寺の休息时间」（令和5年3月30日開催）

- ・子ども・若者の居場所づくりに向けた支援（逗子4丁目地域空き家活用）として、空き家活用の検討会議に参加した。

ウ 送迎支援ボランティアの仕組み検討

- ・「送迎担い手養成研修」の参加者を対象に、情報共有・意見交換会を実施（全5回）。

エ 地域における食料支援の受け取り窓口の開催

- ・フードドライブ事業の一環として、コロナ禍の状況及び本会の対応をサポートやサロン集会の場で情報提供した。
- ・地域包括支援センター、逗子市スポーツ協会、スズキヤ逗子駅前店と連携して、食料支援の受け取り窓口を開催した。（全5回）

オ ひきこもりに関する支援

・お寺を活用した居場所づくりとして、当事者・家族・支援者・専門機関等との情報共有・意見交換を実施した。(全5回)

・「お寺で休息～親あるあいだの語らいカフェ～」(令和4年10月16日開催)(共催:佛乗院)

カ 地域に不足するサービス・支援調整について

コロナ禍の影響により、デイサービス等が休止する事態を受け、要支援者の方の安否確認を地域ボランティア等で実施するためのコーディネート強化を図った。

・関係機関との連携、周知を実施。(Zケアネット、逗葉地域通所サービス連絡会、ずし訪問介護事業所連絡会)

③ 社会資源の把握

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることを目的に、日々の生活で活用できる便利なサービス情報を集約・更新した。「かながわ福祉サービス振興会」と連携のもと、かながわ福祉サービス振興会のホームページ「地域包括ケアシステム」に掲載した。掲載数:20項目、93業種(更新作業は随時実施)

④ 総合事業の多様なサービスの検討会の開催

介護予防・日常生活支援総合事業において、多様なサービスに係る住民主体による支援(訪問型サービスB)の設置、運営のため関係機関及び団体による会合を開催した。開催数1回

(5) 福祉教育推進事業

① 福祉教育の実施

市内小・中学校からの要請を受け、地域の实情に即した形での福祉体験を通し、人と人との関わり合いや地域において互いに支え合うことの大切さを学ぶ協力を行った。地域の社会資源や地域教育力を活用して実施した。

ア 小学校

・市内4校、21日間、49コマ実施。

・内容:高齢者・障がい者等、地域の様々な人との交流(対話、体験、ボッチャ、避難所ワーク等)、講話「社協とは?」、講話「‘自分だったら’と考えてみよう」等

イ 中学校

・市内3校、7日間、9コマ実施。

・内容:発達障がい・認知症をテーマとした講話、ワーク、当事者からのメッセージ等

② サマースクールの実施

市立中学校(3校)、県立高等学校(2校)、私立中学・高等学校及び市内在住の生徒(市外への通学者)を対象に、福祉施設(特別養護老人ホーム3か所、保育所3か所、障がい者事業所1か所)におけるボランティア体験を通し、ボランティア活動などに参加する意義を学ぶことを目的として実施した。

・施設連絡会 令和4年5月13日

・開催期間 令和4年7月25日～8月25日

・参加者数 30名(延べ人数47名) (令和2・3年度中止。令和元年度 参加者40名)

・協力施設数 7施設

③ 福祉教育チームの運営

逗子市における福祉教育実践の協議及び、具体化したプログラムを検討する場として、福祉教育チームを設置した。福祉教育セミナー、プロジェクト等について検討した。

ア 会議の開催 12回開催

イ 第19回福祉教育セミナー「福祉の種まき実践を考える」開催

日程・会場	令和5年1月7日・市民交流センター（オンライン有）
参加者	63名（市民交流センター49名、オンライン14名）
内容	3テーマによるワークショップ・グループワーク
講師	基調講演 日本福祉大学 教授 原田正樹氏

ウ プロジェクトの開催

- ・学校実践プロジェクト：会合10回（小中学校の福祉教育検討）
 - ・学校実践3校
 - ・「学校での福祉教育実践を通して伝えたいこと」資料作成
- ・地域活動プロジェクト：会合10回（地域状況の情報共有、自治組織のない地域の取組検討）
 逗子7丁目地域を対象にした取組
 - ・「防災に関する意識調査アンケート」実施（355世帯）
 - ・住民懇談会（アンケート結果報告会）を開催（令和4年12月14日 参加者9名）
 - ・「逗子7丁目<わたしの町の掲示板>を考える集い」開催（令和5年3月28日 参加者7名）
- ・絵本・アートプロジェクト：会合10回（絵本を活用した場づくり、啓発について検討）
 - ・絵本を活用した場づくりへの支援、絵本リスト（実践例）の作成・配布
 - ・絵本を活用した福祉の啓発（令和5年3月25日、26日トモイクフェスティバルでの絵本展示）

（6）災害対応事業（逗子市からの一部受託事業）

逗子市が行う避難行動要援護者避難支援計画の実施に協力した。また、災害ボランティア育成講座を開催した。

災害ボランティア育成講座「みんなの防災作戦@ずし ～私はこれをしてしたい！～」

日程・会場	令和5年2月19日・市民交流センター
参加者	49名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対談「東日本大震災を生き抜いた知恵～準備して良かったこと、もっとできたこと～」 ・プレゼンテーション、 ・グループワーク「私はこれをしてしたい！」
講師	一般社団法人BIG UP 石巻 代表理事 阿部由紀氏 逗子災害ボランティアネットワーク 小林深吾氏 登壇者：逗子市内で災害に関する活動をしている方

（7）ボランティア村の開催

逗子市民まつりにおいて、逗子市ボランティア連絡協議会に協力いただき「ボランティア村」を開催し、共同募金、フードドライブ、チャリボンの啓発を行った。また、フードドライブは、逗子ロータリークラブと共にチラシ等を配布した。（開催日 令和4年11月6日）

（8）障がい福祉事業

① 手話奉仕員養成講習会の開催

聴覚障がい者福祉への理解を広げることを目的として、初めて手話を学ぶ方を対象に入門課程講習会を葉山町社会福祉協議会と合同で開催した。

日程・会場	令和4年4月6日～令和4年8月24日（全20回）・福祉会館
参加者	15名（令和3年度12名）
講師	逗葉手話講習会講師団

（9）児童福祉・子育て支援事業

① 体験学習施設親子スペース等に係る事業（逗子市からの受託事業）

市が開設している体験学習施設の一部運営を行った。

ア 親子遊びの場運営事業

- ・プレイルーム小の運営
- ・プレイルーム大の運営

来場者数 13,828人（内訳：大人6,165人・子ども7,663人）

※令和3年度10,361人（内訳：大人4,620人・子ども5,741人）

- ・陽だまりサークル

子育て中の親を対象に、友達づくりの場の提供、一時的に子どもと離れリフレッシュできる場の提供を目的に開催した。

1回目

日程	令和4年9月29日
参加者	14名
内容	身体の土台・骨盤を整えるヨガ
講師	川勝俊子氏

2回目

日程	令和4年10月19日
参加者	9名
内容	アロマミスト作り
講師	小磯良子氏

3回目

日程	令和4年11月25日
参加者	9名
内容	ウインタースワッグ作り
講師	鈴木美和氏

- ・おもちゃ病院

毎月第3木曜日、年12回開催した。

イ カフェ事業

通常のカフェとしての運営を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは中止した。

- ・営業時間 11時～16時（ラストオーダー 15時30分）
- ・営業日数 299日

ウ 情報事業

子育てが円滑になり、意欲的に取り組めることや孤立せずに子育てできることを目的として、以下の情報の発信を行った。

- ・「子育て応援紙 陽だまり」の企画・編集・発行を行った。年3回発行、配布部数2,385部、配布先40ヶ所。
- ・総合情報誌を発行。

・逗子市の子育てポータルサイトに、市内の様々な情報を掲載した（えがおレポート）。レポーターは広報などで子育て中の市民を募集した。掲載 10 回。

エ 子育てネットワーク会議

子育て世代の意見を市の子ども・子育て支援施策に反映することを目的とした市民参加型の会議を 1 回開催した。

② イベント保育サポーター派遣事業（一部逗子市からの受託事業）

子育て中の保護者が講演会などに参加しやすいように、講演会開催時に参加者の子どもを一時保育するイベント保育サポーター派遣事業を実施した。

派遣実績

サポーター登録者数	44 名 (49 名)
派遣依頼回数	33 件 (22 件) 内市委託件数 26 件
派遣人数	延べ 93 名 (53 名) 内市委託件数 77 名

※（ ）内は、令和 3 年度実績

(10) 助成事業

各種福祉団体に対し、団体助成金交付事業として、助成金交付審査会において適正な審査を行い、活動費等の助成を行った。

① 各種福祉関係団体活動支援

当事者等団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
9 (8)	220,418 (199,500)

※（ ）内は、令和 3 年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

② ボランティア団体活動支援

ボランティア団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
13 (12)	402,613 (383,500)

※（ ）内は、令和 3 年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

③ 子ども食堂応援事業協力金の支給

新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども食堂の継続に支障が出ている団体の活動を支援するため、協力金を支給した。

団体数	助成額(円)
1 (1)	50,000 (50,000)

※（ ）内は、令和 3 年度実績

(11) ひとり暮らし高齢者訪問指導事業(逗子市からの受託事業)

おおむね 65 歳以上の単身世帯を訪問し、心身の状況及び家族等の状況の実態を把握するとともに生活上、介護上の相談及び助言その他必要な相談及び助言を行った。

訪問件数	1,807 件 (1,977 件)
内在宅件数	1,139 件 (1,283 件)
内不在件数	668 件 (694 件)

※（ ）内は、令和 3 年度実績

Ⅲ. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業（名称：逗子あんしんセンター 神奈川県社会福祉協議会からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及び判断能力に不安がある方のために、福祉サービスの利用手続き等の援助をはじめ、日常生活に伴う預金の預け入れや引き出しなどを支援する日常的な金銭管理サービス及び通帳・権利書などの重要書類をお預かりする書類等預かりサービスを実施し、地域で自立した生活ができるよう支援を行った。

（1）相談対応・実績

① 相談援助件数

新規初回相談	22 (26)
契約者へのサービス提供に関する訪問活動	788 (773)
サービス提供以外で相談者・契約者に関する相談援助	2,500 (1,935)
合計	3,310 (2,734)

※（ ）内は、令和3年度実績

② 新規契約件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	4	0	0	1	0	5
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	0	0	0

③ 契約終了件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	5	1	2	0	0	8
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	1	0	0	0	0	1

※契約終了理由：死亡1件 施設入所4件 支援の継続困難0件 自己管理へ移行1件
親族管理2件 後見人選任による管理1件

④ 契約人数

令和5年3月末時点【実契約人数31名】（実契約人数35名）

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	11 (12)	4 (6)	0 (2)	4 (4)	1 (1)	20 (25)
書類等預かり	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
両方契約	2 (3)	4 (3)	1 (1)	3 (2)	0 (0)	10 (9)

※（ ）内は、令和3年度（令和4年3月末実績）

※ 書類預かりのみの契約を除くと実質的人数30名

（2）その他

① 契約締結審査会（神奈川県社会福祉協議会）

参加回数 2回（令和4年6月3日、令和4年12月23日）

内 容 ・新規契約（毎月の収支で不足が生じる方の支援適否）について
・後見人（後見類型）が選任された方の契約継続可否について

② 局内カンファレンス

契約及び解約の可否に関する承認、支援内容助言等を行った。

開催日 令和4年5月9日、10月7日、12月22日、令和5年3月23日

③ 生活支援員の登録人数

- ・登録 14 名（現民生委員児童委員 1 名、民生委員児童委員による推薦 2 名、生活支援員からの推薦 2 名、ボランティア団体推薦 6 名、元民生委員児童委員 1 名、元消防職員 2 名）

④ 弁護士相談（月 1 回、第 4 金曜日、14 時～16 時）

内容	成年後見	相続	財産管理	家族関係	金銭トラブル	不動産関係	近隣トラブル	遺言書	債務整理	その他	合計
件数	1 (0)	5 (4)	1 (0)	4 (6)	2 (1)	0 (6)	0 (0)	1 (0)	4 (1)	0 (3)	18 (21)

※（ ）内は、令和3年度実績

⑤ 広報・啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（法律相談）

2. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活支援を成年後見人等として実施した。

① 法定後見業務

業務	後見	保佐	補助	合計
受任件数	5 (5)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
終了件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※（ ）内は、令和3年度実績

② 成年後見事業に関連する業務

ア 成年後見制度に関する相談

成年後見相談（電話）

内容	制度説明	家族関係	他機関案内	合計
件数	6 (1)	2 (4)	3 (4)	11 (9)

※（ ）内は、令和3年度実績

成年後見相談（来館・原則月 1 回 第 4 水曜日 14 時～16 時）

内容	制度説明	家族関係	合計
件数	7 (12)	0 (6)	7 (18)

※（ ）内は、令和3年度実績

イ 成年後見制度の普及啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（成年後見相談）

3. 生活困窮者自立相談支援事業（逗子市からの受託事業）

生活困窮者等が様々な困窮状態から早期に脱却することを支援し、自立を促進することを目的とした自立相談支援や住居確保給付金の対応に取り組んだ。

（1）相談対応・実績

① 相談件数

- ・新規相談件数 65件（令和3年度 97件）
- ・継続相談件数 104件（令和3年度 169件）

② 対応延べ件数

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
835 (1,134)	276 (437)	68 (79)	18 (15)	72 (322)	1,269 (1,987)

※()内は、令和3年度実績

（2）対応状況

住居確保給付金	常用就職者(支援前失業中等)	プラン作成件数	生活保護受給決定者	生活福祉資金貸付者(生保受給者等除く)	たすけあい資金貸付延べ件数(生保受給者除く)	生活保護受給者等就労自立促進事業申請者
7 (20)	13 (21)	31 (33)	8 (9)	51 (57)	27 (34)	15 (25)

※()内数値は、令和3年度実績

（3）住居確保給付金

初回	延長	再延長	再々延長	再支給
7	9	8	3	7

4. 家計改善支援事業（逗子市からの受託事業）

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、自立相談支援事業と連携し、家計の見直しや債務整理等の支援を行った。

（1）相談対応・実績

- ・10件(うち逗子市支援決定6件)
- ※令和3年度実績 14件(うち逗子市支援決定2件)

（2）対応状況

家計表による家計、金銭管理支援等を行い、状況に応じて司法書士相談につないだ。

（3）司法書士相談

- ・相談内容 債務整理の説明・契約・助言等
- ・相談回数 6回
- ・債務整理4件(任意整理0件、自己破産3件、個人再生0件、その他1件)
- ※令和3年度実績 2件(任意整理0件、自己破産2件、個人再生0件)

5. フードドライブ事業

市民からの食料支援等の協力をいただき、食料で困っている世帯に対し、食料の配布を行った。

また、市内子ども食堂スタッフ、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等との連絡会を開催し、情報共有や「子ども応援大作戦」事業を実施した。

(1) 食料支援

- ・食料支援(白米、レトルト食品、麺類等) 289件(令和3年度 352件)

(2) 子ども応援大作戦

新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮している子どもがいる世帯を対象に、期間限定の食料支援を行った。必要に応じ定期的なフードドライブ事業に繋げ、継続的な支援も視野に入れ実施した。

① 概要

	期間	配布世帯	配布人数
1回目	令和4年7月11日～15日	37世帯 内ひとり親世帯 17世帯 (内父子世帯 2世帯)	135人
2回目	令和4年12月19日～23日	34世帯 内ひとり親世帯 15世帯 (内父子家庭 1世帯)	125人
3回目	令和5年3月13日～17日	38世帯 内ひとり親世帯 17世帯 (内父子家庭 1世帯)	142人

※令和3年度は3回実施

- ・後援：逗子市、逗子市教育委員会
- ・協力：逗子市民生委員児童委員協議会、子ども食堂スタッフ有志、逗子ロータリークラブ、横須賀ゾンタクラブ、各地域包括支援センター

② 連絡会 令和4年6月1日、11月11日、令和5年2月24日

6. 生活支援事業

(1) 資金貸付事業

① 生活福祉資金貸付(神奈川県社会福祉協議会からの受託事業)

他の融資を受けることが困難な低所得世帯や障がい者世帯等に対し、民生委員児童委員と本会が窓口となり生活及び相談貸付援助、償還指導を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の対応に取り組んだ。

貸付相談・決定状況(償還相談含む)

	相談延べ件数	内訳
貸付相談	713 (1,327)	一般貸付 480件(557件) ※主な相談内容 福祉資金、教育資金、緊急小口資金 不動産担保型生活資金 13件(8件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0件(0件) 総合支援資金 220件(762件)
貸付決定	43 (280)	一般貸付 25件(107件) ※内訳 教育 0件、緊急小口 24件、福祉資金 1件 不動産担保型生活資金 0件(0件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0件(0件) 総合支援資金 18件(173件) ※他に申請したが不承認 緊急小口 2件、総合支援 6件あり

※()内は、令和3年度実績

② たすけあい資金貸付

低所得世帯等を対象に、緊急かつやむを得ない状況にある者に対し、貸付・相談援助・返済指導を行った。

対応状況

相談延べ件数	貸付件数	貸付総額(円)	償還総額(円)
75 (66)	28 (34)	324,500 (325,000)	509,000 (345,000)

※ () 内は、令和3年度実績

(2) 生活援護事業

① 災害援護

火災等に罹災し、全焼・全壊・死亡及び半焼・半壊・重傷の世帯に対し、見舞金を支給した。

・対応状況 全焼・重傷1件 (25,000円)

※令和3年度実績 全焼2件 (20,000円)

② 交通遺児援護

県社会福祉協議会とは別に本会財源により、交通遺児に対し、小中学校入学時又は中学校、高校卒業時の祝金等の支給を行った。

・支給状況 該当なし

※令和3年度実績 高校卒業1件(20,000円)

7. 在宅支援事業

(1) フレンドリーヘルパー派遣事業

市内在住の高齢者や乳幼児を子育て中の家庭で、一時的又は継続的に家事支援等を必要とする方を対象に、本会会員の互助事業として、日常の家事援助サービス等を実施した。

① ヘルパー活動 (高齢者対応)

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	87名 (90名)
ヘルパー登録者数	40名 (38名)
派遣人数	延べ694名 (748名) 月平均57.8名 (62.3名)
派遣時間	延べ4118.5時間 (3919時間) 月平均343.2時間 (326.6時間)

※ () 内は、令和3年度実績

② ヘルパー活動 (乳幼児対応)

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	15名 (12名)
ヘルパー登録者数	14名 (14名)
派遣人数	延べ48名 (41名) 月平均3.4名 (2名)
派遣時間	延べ278時間 (234.5時間) 月平均23.1時間 (19.5時間)

※ () 内は、令和3年度実績

③ フレンドリーヘルパー定例研修会

資質向上のため研修会

日程・会場	令和4年9月30日・福祉会館
内容	感染対策及び活動時の注意点について・座談会
講師	本会職員

(2) あゆむサービス事業

一時的又は継続的に家事援助等を必要とする65歳以上の要支援・事業対象者の方に対し、家事援助等のサービスを提供し、当該世帯の福祉の向上を図るために実施した。

介護予防・日常生活支援総合事業における「住民主体による訪問型サービス事業」のサービス提供団体として逗子市と協議しながら住民ニーズに即したサービス提供を実施した。

① 活動実績

内容	人数・活動日数
利用者登録数	5名 (8名)
ヘルパー登録者数	14名 (17名)
派遣人数	延べ48名 (67名)
利用時間(ゴミ出し除く)	延べ54時間 (44.5時間) 月時間 平均4.5時間 (3.7時間)
利用回数(ゴミ出し)	延べ175回 (254回) 月平均14.5回 (21回)

※()内は、令和3年度実績

② 研修会

資質向上のため研修会を実施。(フレンドリーヘルパー定例研修会と合同開催)

(3) 家族介護者支援事業(逗子市からの受託事業)

在宅で家族を介護している方を対象に、家族介護者教室の開催により、介護に必要な知識・技術の習得及び相互交流を実施した。

① 身体を痛めない介助方法を知ろう～介護方法の紹介と実演～

日程・会場	令和5年2月4日・福祉会館
参加者	9名
内容	講義・実演
講師	理学療法士・フレイルトレーナー・日本理学療法士協会フレイル対策推進マネージャー・かながわ介護予防・健康づくり運動指導員 中村亮氏

② 私の助けになる福祉用具を知ろう～便利な福祉用具を知ろう～

日程・会場	令和5年2月11日・福祉会館
参加者	11名
内容	講義・実演
講師	セントケア・リフォーム鎌倉 所長 剣持名那氏 加藤ひとみ氏

③ オムツの「いろは」を知ろう～オムツの選び方や機能を紹介～

日程・会場	令和5年2月18日・福祉会館
参加者	14名
内容	講義・実演
講師	ミニむつき庵 吉野佐代子氏 花王株式会社 窪田由香氏

④ 介護食のコツを知ろう～介護食の紹介と実演～

日程・会場	令和5年2月25日・福祉会館
参加者	8名
内容	講義・実演
講師	ホームケアクリニック横浜港南 訪問管理栄養士 森田千雅子氏

(4) お元気確認サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等を対象に、平日の朝に電話等で安否確認を行い、家族等の指定先に報告を実施した。

・利用人数6名

※（令和3年度実績 利用人数7名）

8. 介護人材育成事業

(1) 介護に関する入門的研修：入門講座（神奈川県社会福祉協議会・逗子市からの受託事業）

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護に関する入門的研修を開催し、介護現場で働く人材育成の第一歩となる機会を提供した。

日程・会場	令和4年11月19日～12月10日（内4日間）・福祉会館
参加者	研修修了者7名
対象	介護の仕事未経験・未就労であり、介護の資格未取得の方
内容	カリキュラムに準じて実施（23時間）
講師	市内介護保険事業所職員、本会職員

(2) 介護に関する入門的研修：基礎講座（神奈川県社会福祉協議会・逗子市からの受託事業）

本会の職員が講師となり、介護に関する入門的研修を開催し、介護現場で働く人材育成の第一歩となる機会を提供した。

日程・会場	令和5年3月4日・福祉会館
参加者	研修修了者14名
対象	介護の仕事未経験・未就労であり、介護の資格未取得の方
内容	カリキュラムに準じて実施（3時間）
講師	本会職員

(3) 介護職員初任者研修

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護職員初任者研修を開催し、地域の介護人材の育成と確保を図った。

日程・会場	令和4年5月16日～8月6日（31日間）・福祉会館
参加者	研修修了者8名
対象	逗子市在住・在勤・在学のいずれかで、介護職員として働くことに意欲を有する16歳から65歳以下で心身共に健康な方
内容	カリキュラムに準じて実施（130時間）
講師	市内介護保険事業所職員、本会職員

9. さくら貝サービス事業所

(1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）の作成管理及び給付管理を行った。

① 利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護	68 (86)	68 (86)	66 (88)	69 (83)	67 (85)	65 (82)	68 (87)	70 (90)	68 (94)	67 (89)	67 (87)	66 (84)	809 (1,041)
予防	26 (18)	26 (18)	28 (19)	28 (19)	26 (19)	23 (19)	25 (19)	27 (21)	26 (22)	30 (21)	30 (19)	31 (18)	326 (232)

※（ ）内は、令和3年度実績

(2) 居宅訪問介護サービス事業（介護保険事業）

訪問介護員によるサービス提供（身体介護・生活援助・訪問型サービス）を行った。

① 利用人数及び利用時間数

(利用人数及び利用時間)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護	96 (123)	92 (120)	91 (119)	88 (119)	85 (119)	81 (121)	84 (123)	86 (124)	86 (119)	86 (121)	84 (118)	82 (115)	1,041 (1,441)
予防	17 (23)	17 (22)	19 (23)	19 (24)	19 (23)	21 (23)	29 (22)	25 (22)	25 (21)	23 (21)	25 (20)	21 (18)	260 (262)
利用時間	1493:30 (1565:20)	1400:35 (1490:15)	1456:35 (1476:45)	1362:40 (1469:40)	1277:50 (1409:25)	1219:35 (1438:25)	1151:20 (1468:10)	1278:00 (1504:10)	1265:20 (1513:10)	1289:00 (1458:50)	1213:05 (1348:15)	1189:00 (1493:30)	15,596:30 (17,635:45)

※（ ）内は、令和3年度実績

② 利用時間数内訳

(表記は時間：分)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体介護	703:30 (758:20)	620:40 (723:50)	610:25 (699:20)	570:25 (680:40)	493:05 (663:15)	459:10 (689:35)	414:20 (684:55)	486:25 (676:40)	485:05 (726:15)	498:25 (720:50)	465:00 (627:50)	446:30 (703:30)	6,253:00 (8,355:00)
生活援助等	790:00 (807:00)	779:55 (766:25)	846:10 (777:25)	792:15 (789:00)	784:45 (746:10)	760:25 (748:00)	737:00 (783:15)	791:35 (827:30)	780:15 (786:55)	790:35 (738:00)	748:05 (720:00)	742:30 (790:00)	9,343:30 (9,280:45)
合計	1493:30 (1565:20)	1400:35 (1490:15)	1456:35 (1476:45)	1362:40 (1469:40)	1277:50 (1409:25)	1219:35 (1438:25)	1151:20 (1468:10)	1278:00 (1504:10)	1265:20 (1513:10)	1289:00 (1458:50)	1213:05 (1348:15)	1189:00 (1493:30)	15,596:30 (17,635:45)

※（ ）内は、令和3年度実績

(3) 障害者総合支援事業

身体障害者居宅介護等事業（家事援助・身体介護・通院介助・重度訪問介護）、移動支援事業（移動支援）を行った。

① 障がい福祉サービス

(利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	225:00 (162:50)	221:40 (181:50)	219:05 (165:50)	262:05 (191:50)	255:00 (184:50)	176:40 (201:50)	168:50 (176:00)	200:40 (172:00)	210:15 (153:50)	206:30 (166:50)	197:40 (137:50)	242:40 (182:50)	2,586:05 (2,078:20)
利用人数	22 (16)	22 (16)	21 (16)	22 (16)	22 (16)	23 (16)	23 (16)	23 (15)	24 (15)	20 (16)	18 (16)	18 (16)	258 (190)

※（ ）内は、令和3年度実績

② 移動支援サービス

(利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	99:50 (68:50)	86:40 (58:00)	88:00 (55:00)	74:40 (72:00)	73:50 (48:50)	75:00 (56:50)	75:00 (97:50)	80:50 (66:00)	51:50 (99:00)	51:25 (52:50)	99:15 (64:50)	153:00 (97:50)	1,009:20 (837:50)
利用人数	6 (6)	8 (6)	6 (6)	5 (6)	5 (5)	4 (5)	4 (7)	5 (7)	5 (7)	5 (5)	5 (7)	4 (6)	62 (73)

※ () 内は、令和3年度実績

10. 地域包括支援センター (逗子市からの受託事業)

担当地域における高齢者に対し、心身の健康保持及び生活の安定のための必要な支援を行った。

(1) 総合相談・支援業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	109 (101)	104 (100)	125 (128)	107 (108)	127 (142)	121 (116)	109 (119)	105 (127)	100 (103)	88 (120)	65 (98)	107 (121)	1,267 (1,383)
対応延件数	275	281	381	247	340	296	288	323	297	307	174	274	3,483

※ () 内は、令和3年度実績

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	1 (13)	0 (2)	3 (13)	4 (11)	5 (4)	5 (9)	7 (6)	2 (12)	5 (4)	2 (2)	2 (1)	1 (7)	37 (84)

※ () 内は、令和3年度実績

② 高齢者虐待への対応

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	1 (0)	0 (2)	4 (2)	2 (2)	6 (1)	3 (1)	2 (4)	0 (9)	2 (3)	7 (1)	0 (2)	3 (3)	30 (30)

※ () 内は、令和3年度実績

③ 消費者被害の防止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	8 (7)

※ () 内は、令和3年実績

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

① 介護支援専門員への助言等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	1 (6)	1 (5)	4 (9)	4 (9)	0 (6)	1 (5)	2 (5)	1 (1)	1 (3)	1 (5)	0 (3)	1 (3)	17 (60)

※ () 内は、令和3年実績

② 介護支援専門員対象の研修会等開催

- ・ケアマネサロンの開催（各地域包括支援センターと合同開催） 6回

(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
委託	契約件数	3 (1)	2 (1)	5 (1)	1 (0)	1 (4)	1 (2)	0 (3)	2 (2)	1 (1)	2 (4)	1 (2)	1 (1)	20 (22)
	給付件数	106 (78)	102 (75)	107 (75)	101 (71)	100 (71)	100 (71)	96 (76)	99 (75)	97 (74)	104 (77)	99 (71)	99 (71)	1,210 (885)
包括	契約件数	0 (2)	3 (2)	2 (0)	6 (2)	4 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (5)	4 (2)	2 (5)	4 (7)	5 (2)	37 (27)
	給付件数	66 (97)	69 (96)	72 (99)	77 (103)	83 (103)	83 (98)	79 (94)	89 (101)	89 (101)	79 (94)	84 (102)	86 (99)	956 (1,187)
給付件数合計	172 (175)	171 (171)	179 (174)	178 (174)	183 (174)	183 (169)	175 (170)	188 (176)	186 (175)	183 (171)	183 (173)	185 (170)	2,166 (2,072)	

※（ ）内は、令和3年度実績

(5) 認知症に関する取り組み

① 関係機関との連携

- ・逗子警察と特殊詐欺に関する定期情報交換 12回
- ・家族会開催の事務局を担う

② 認知症サポーターの養成・認知症の理解促進

- ・認知症サポーター養成講座 3回 52名参加
- ・認知症版買い物ガイドを池田通り商店街と作成し、認知症の理解促進を図る 24店舗配布

③ おれんじカフェの運営

- ・認知症カフェの開催 11回 年間延べ参加人数 90名

④ 居場所づくり

- ・住み慣れた地域で、認知症の方と家族を対象としたコンサート開催 21名参加（開催日 令和4年12月10日）

(6) 地域ケア会議推進事業

① 個別課題に関する地域ケア会議 4回開催

② 地域課題に関する地域ケア会議 3回開催

- ・商店版「認知症買い物ガイド」作成と商店への啓発の方法 2回
- ・「グリーンケアについて」

(7) 生活支援コーディネーター（第2層）業務

第2層生活支援コーディネーターとして、地域資源の把握・資源開発・ネットワーク構築等について第1層生活支援コーディネーターと連携し、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。

① 地域のニーズと資源状況、課題の把握

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、フレイル傾向の高齢者が増加したという課題を把握

② 資源開発の企画・立案

- ・「ウォーキングマップ」の作成、配布、設置（市内数か所に配布用マップ、スタンプ、血圧計を設置） 150部配布（2コース分合計）
- ③ 地域における支えあい・介護予防の取り組みに関する普及啓発
 - ・「逗子しおかぜ体操」を通じて、介護予防、地域づくりを継続支援
 - ・民生委員児童委員による「はがきによるお元気確認」の取り組みを支援
 - ・「フレイル予防講座」を実施 6回開催 延べ59名参加
 - ・住民主体で実施するための「ラジオ体操」の継続支援
- ④ 関係機関等との連携及びネットワーク構築
 - ・第1層生活支援コーディネーターとの打ち合わせ 12回
 - ・逗子市社会福祉課への報告 12回
 - ・民生委員児童委員協議会（中部地区・西部地区）への参加 14回
 - ・お互いさまサポーター集会、地域サロン等への参加 66回

（8）重層的支援体制整備事業（多機関協働事業・参加支援事業）

- ① 地域のニーズと資源状況、課題の把握
 - ・山の根自治会で、65歳以下の方対象に、地域に対する意識調査を実施 279名中123名分回収
- ② 多機関協働
 - ・個別の相談を通して、関係機関と連携し、支援の方向性等を検討
- ③ 地域づくり
 - ・多世代の人が同じ時間を過ごせる居場所づくりを地域住民と共に実施

（9）介護予防実態把握事業

- 逗子市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より抽出された対象者に対し、訪問等により面談を行い、フレイルに関する情報・助言を重点的に行った。
- ・訪問件数 12件

（10）その他

- ① 地域包括支援センター連絡会議
 - ・円滑な運営・事業展開を図るため、市と各地域包括支援センターによる定期連絡会に出席
- ② 独居高齢者等情報交換会等
 - ・市主催の独居高齢者把握及び情報交換を目的とした会議に出席
 - ・市からの依頼により、ひとり暮らし台帳作成のための訪問業務及び台帳の作成事務を実施
- ③ センター内カンファレンス
 - ・対応困難事例や虐待ケース等について必要に応じカンファレンスを実施
- ④ 事例検討
 - ・支援困難事例等について各専門職に参加を依頼し、事例検討を実施
- ⑤ 作品展の開催
 - ・センター相談者等に対し、介護予防支援、表現活動の一環として作品の募集を行い、作品展を開催した。写真、絵画、手工芸品などの作品をセンター内、福祉会館に展示した。（開催日 逗子会館：令和4年11月1日から11月7日、福祉会館：令和4年11月29日から12月16日）

IV. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業（逗子市からの受託事業）

福祉会館の指定管理者として、市民に使いやすい施設運営を目指し管理運営した。また、新型コロナウイルス感染症により利用定員の制限等、感染予防に関する対応を行った。

(1) 部屋別利用状況

区分	会議室		研修室		ボランティアコーナー		小会議室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	561 (483)	5,539 (4,753)	321 (266)	3,261 (2,478)	377 (358)	1,358 (1,395)	198 (117)	1,316 (673)	0 0	0 0	1,457 (1,224)	11,474 (9,299)

※（ ）内は、令和3年度実績

(2) 利用者別利用状況

区分	社会福祉団体		行政関係		各種団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	1,231 (1,051)	8,542 (6,990)	21 (23)	250 (346)	205 (150)	2,682 (1,963)	1,457 (1,224)	11,474 (9,299)

※（ ）内は、令和3年度実績

(3) 有料件数と金額

件数	205 (150)
金額（円）	92,325 (68,625)

※（ ）内は、令和3年度実績

2. 基金等運営事業

(1) あゆむ銀行の運営

預託のあった善意（金品）を、預託者の主旨に基づき地域に還元した。市民の方々及び団体から多くの善意が寄せられた。

① 金銭

目的別	件数		金額(円)	
一般福祉	47	(97)	1,490,925	(3,754,470)
障がい児者福祉	0	(0)	0	(0)
高齢者福祉	1	(6)	100,000	(68,200)
児童福祉	0	(1)	0	(274,788)
ひとり親世帯福祉	0	(1)	0	(10,000)
福祉基金	0	(0)	0	(0)
生活困窮者自立支援事業 (フードドライブ事業含む)	40	(28)	844,985	(940,890)
合計	88	(133)	2,435,910	(5,048,348)

※（ ）内は、令和3年度実績

② 物品

- ・事務用品、食料品、介護用品など。
- ・ペットボトルキャップ回収活動をNPO法人、市民交流センターと協働で実施し、リサイクル収益の一部を寄付とした（本会への寄付額 608 円）。

(2) 福祉基金の運営

- ・福祉基金を一部運用し、基金果実を地域福祉事業の財源とした。基金運用益 743,894 円。

3. 車イス・イベント機器の貸出

各種団体等に車イス、テント、机、イス、綿菓子機、ポップコーン機、もちつきセット等を有料（車イスは無料）で貸し出すとともに、市民活動を支援するため、印刷機・コピー機の利用を提供した。

福祉機器等貸出状況

貸出物品	車イス	テント	机	イス	綿菓子機	ポップコーン機	もちつき	合計
件数	20 (31)	1 (2)	2 (0)	2 (0)	7 (3)	7 (2)	2 (1)	41 (39)

※（ ）内は、令和3年度実績

4. 社会福祉実習生の受け入れ

近隣大学等からの申し出により、実習生の受け入れを実施しているが令和4年度の実績はなかった。

5. 駐車場管理運営事業

地域福祉事業の財源を確保するため、小坪海浜地駐車場の駐車場管理運営を行った。

- ・小坪海浜地駐車場：月契約台数 47 台

6. その他

(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局

① 一般募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,690,016 (2,760,777)	8,880 (9,056)	
街頭募金	121,460 (67,420)	12 (8)	街頭募金実績：12 団体 83 名（延べ）が参加
法人募金	379,000 (425,000)	43 (48)	DM 発送数（第一信 1,836 通、第二信 519 通）
学校募金	92,073 (78,235)	9 (12)	市内小学校・中学校・高校等
職域募金	169,416 (196,077)	47 (49)	一般職域及び公共施設合計 58 件
イベント募金	10,247 (522)	1 (1)	市内のイベント開催に集めた募金

その他の募金	41,883 (28,818)	7 (6)	
合計	3,504,095 (3,556,849)	8,897 (9,180)	

※（ ）内は、令和3年度実績

② 年末たすけあい募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,622,176 (2,804,662)	8,880 (9,033)	
街頭募金	57,333 (55,750)	8 (9)	街頭募金実績：8団体30名(延べ)が参加
法人募金	0 (0)	0 (0)	
学校募金	0 (0)	0 (0)	
職域募金	33,435 (40,768)	7 (9)	
イベント募金	0 (0)	0 (0)	
その他の募金	55,000 (30,000)	2 (1)	
合計	2,767,944 (2,931,180)	8,898 (9,052)	

※（ ）内は、令和3年度実績

③ 神奈川県共同募金会逗子市支会委員会

- ・第1回 令和4年4月25日
- ・第2回 令和4年5月30日
- ・第3回 令和5年1月27日
- ・第4回 令和5年3月15日

④ 第45回神奈川県福祉作文コンクール

- ・令和4年度応募なし

⑤ 共同募金配分

令和3年度赤い羽根募金、年末たすけあい募金で集められた募金を地域福祉活動の財源として、令和4年度は以下の事業に配分した。

事業名	金額
当事者等団体育成事業	333,000円
ボランティア活動育成事業	670,000円
情報提供事業	245,000円
福祉功労者顕彰	122,000円
地域活動計画事業	190,000円
地域福祉共通事業	2,080,000円
手話奉仕員養成講習会	150,000円
合計	4,510,000円

(総配分額 4,510,000円)